

ど実現できない、「見る、撮る」のレベルだと気がつくべきだと私は断言したい。

超小規模とホームセキュリティの領域は1カメラ~16カメラと定義した。日本でのボリューム・ゾーンであり、海外でも同様だ。徹底して「見る、撮る」という利用が過半数以上を占めており、この分野ではDVR/NVRが圧倒的だろう。楽天ショップを見てみると、4カメラとケーブル、DVR 500GBセットで39,800円とあり、思わず「ほんまかいな」と言ってしまうが、屋内用ならこのあたりが裾野のようだ。

ホームセキュリティについては、日本では今ひとつ盛り上がっているようには見えない。カメラは重要なアイテムだが、実はホームセキュリティは本格的なセキュリティシステム以上にテクノロジーが重要だ。これを支える技術がZ-WAVEだ、読者諸氏でZ-WAVEといわれて直ぐにピンと来た人はどれだけいるのだろう。Z-WAVEは無線通信技術の一つで、速度は遅いが高信頼性のパケット通信技術として開発された。日本では920MHz帯が解放されている。つまり、ワイヤレスで家庭内のあらゆる場所や外回りにセンサを配置するための技術なのだ。センサとカメラそしてスマホがイベント・アクションによるアラーム管理と一体になったソリューションが、ホームセキュリティの肝となる。

大規模の総括

ここまで来るのに、15年以上の歳月を費やしたが、大規模案件ではほとんどがIPネットワークカメラで海外VMSが今後10年で大きく成長する。国内メーカーは市場を失わないようにするために、海外メーカーとの関係を強化していこう。国内VMS企業の数社は、この領域ではほとんど成長が見込めない、理由は簡単で、アーキテクチャが古すぎるか貧弱だからだ。さらに開発リソースがあり得ないほどに小さい。そして最も致命的なことは、メジャーなサードパーティの各種ソリューション(画像解析メタデータ、アクセス・コントロール)のプラグインを持っていないことだ。ONVIFにも未だ対応していない。

小~中規模の総括

セキュリティをロジックとして捉えて設計するなら、選択肢はIPネットワークカメラとVMSの組み合わせしかあり得ない。この割合が増加すれば大規模と全く同じ状況になる。しかし、簡単にはそうはならないだろう。よって混沌とした状況はまだ続く。

超小規模、ホームセキュリティの領域

ジャバテルとしては、この領域に最も注力していこうと思っている。まさしく、どこカメ@VSSがキラーアプリだと思っている。その一例だがドングルPCをご存じだろうか



ドングルPCを自宅の液晶テレビのHDMIに挿入するだけ。カメラはIODATA社のWi-Fi対応メガピクセル・カメラ、市販で六千円程度。Wi-Fiルーターを使用してインターネットに接続。カメラは4~9台程度まで拡張可能。どこカメ@VSSがインテリジェント・モーション検知やアラーム通知機能を提供し、外出中はスマートフォンにアラームがプッシュされ、状況確認も簡単だ。これに、Z-WAVEとセンサが加われば理想的なセキュリティ・ソリューションが出来上がる。つまり、コンビニや各種ショップでの仕様要求や利用に耐え、強力なアラーム機能も低コストに構築が可能になる。

今回は公共施設におけるセキュリティのあり方について書く予定です。少し早いですが、皆様よいお年を。



株式会社ジャバテル

www.javatel.co.jp

専門サイト nvr.jp ipcam.tv

Javatel
Video Intelligence

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-北 1-21 八千代ビル東館 3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル 3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834